

**本時の主張**

私は、1年生の道徳科では、読み物教材を活用して「考え、議論する道徳」の授業づくりに取り組んでいる。低学年における「考え、議論する」とは、①道徳的諸問題を自分事としてとらえられること②道徳的価値に照らして他者とともに課題を解決しようとするのと考えている。そして、この考える力を育てるために、次の2点を大事にしたいと考えている。

A 道徳的価値にかかわる子どもの主体的な考えを促し、問いをつないで考えを連続させることで考える意欲を高め、主体的で対話的な学びの土台をつくる。

B 学んだ道徳的価値を具体で考えて、行動につないでいこうとする態度を育てる。

本時は、「規則の尊重」について、行動は変わらなくても場面が変わるとほめられたり叱られたりする教材を考えさせていく。そして、きまりは「みんな」が気持ちよく過ごすために大切であることに気付かせ、きまりを守っていこうとする実践意欲を高めさせていきたい。そのために、次の2つの手立てを講じた目指す授業を進める。

**① 再現構成法を活用した指導を行うことにより、自分の経験に基づく主体的な考えを促し、中心価値に迫る。**

資料提示として再現構成法を活用し、主人公の状況や心情を共感的にとらえさせる。また、その際、自分の経験を思い出させ、主人公と自分を重ね合わせる。

主人公の思いに共感させながら、きまりを守るのは「なぜか」を話し合うことで、主体的に問題解決に向かうことができるかと考える。

**② 自分だったらどのように行動するかを役割演技で考えさせ、実践意欲の高まりを顔絵で示す。**

価値の大切さが分かった後、よりよく行動するためにはどうしていきたいかを考えさせる。そこで、見つけた解決策を役割演技を通して実感させることで、全ての子どもたちの具体的な行為につなげていこうとする意欲を高める。

また、授業で学んだことが今後の行動に生かそうとしているかを実践への意欲を示す顔絵で表現させ、評価の1つとしていく。

**1 主題名** 「きまりをかんがえる」 C-10 規則の尊重

**2 教材名** 「らいおんのがっこう」(出典:「みんなでかんがえるどうとく1年」日本標準) 一部改作

**3 主題設定の理由**

**(1) ねらいとする価値**

子どもたちが成長することは、所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくこととも言える。特に、身近な集団である学級は、よりよい人間関係づくりや人間関係における規範意識について考え、実践できる場である。この学級集団で、自分の思いのままに行動するのではなく、学級のみんなのために自分が何をすればよいのか、また自分に何ができるのかを考える。そして、進んで約束やきまりを守って行動する場を数多く設定することで、子どもたちをよりよく成長させることができる。

しかし、低学年の子どもは、まだ自己中心性が強く、周囲への配慮を欠いて、身勝手な行動をとることも少なくない。特に、自分にとって都合がよくないときには、みんなのことを考えられずにきまりを身勝手に解釈し、ときにはきまりを破ってしまうこともある。そして、当事者も含めた学級のみんなが嫌な思いをすることになる。

そこで、低学年、特に1年生のこの時期には、気持ちのよい生活を送るためにきまりがあり、

きまりは「みんな」のために必要であることに気付かせることが肝要である。きまりがあるから守るとか、人に言われたからきまりを守るなどといったとらえをしていると、時や場が変わったときに、状況に応じた行動ができなくなってしまう。それが、時に、身勝手な行動を生む温床ともなる。きまりは「みんな」のために必要であることを自分事として考えたり、状況に応じたふさわしい行動を考えたりすることで、よりよい行動を進んで行き、きまり正しい生活を送ろうとする態度を育てることが大切である。

## (2) 児童の実態

子どもたちは、よりよい学校生活になるために話し合ったり、めあてを決めたりして、みんなで協力し合って過ごしている。

5月に実施した「きまりをまもって」では、みんなと楽しむには「安全」に気を付けて、周りに「迷惑を掛けない」ことが大切であることを全員で考えた。しかし、依然として、「周りの大人が守りなさいと言ったから」と「人に言われたからきまりを守っている」という考えをもっている子どもが見られた。学校内の「廊下は歩く」というきまりが中々定着しないのも、きまりを「人に言われたから」ときまりをとらえ、自分事として考えられないことに起因する。きまりが「みんな」のためにあることを理解し、「みんな」のために想定して、繰り返し考えたり行動したりすることで、実践の場でも望ましい行動ができるようになる。

そこで、本時の授業では、場を考えて、「みんな」のためにきまりを守ることが大切であることを理解し、疑似体験（役割演技）をさせながら実践に向けての意欲付けを図りたい。

特に、「周りが言うから(やっているから)きまりを守っている」と考えている子どもには、友達との意見交流や役割演技による体験的な学習を通して、「みんなのためにきまりを守ることが大切である」という気持ちを強く実感させていく。そして、本時で学んだことをもとに実生活でもやっていきたい」という子どもの姿を目指していく。

## (3) 教材について

本授業の教材「らいおんのがっこう」は、「みんなでかんがえるどうとく1年」（日本標準）で取り上げられている。「主人公のらいおんが、行動は同じでも時と場によってほめられたり叱られたりする。そのような経験をしながら、徐々にきまりが守られるようになっている。」という内容であり、次の4場面から構成されている。

- ①外を駆け回るとほめられ、教室を駆け回ると叱られる場面
- ②紙に絵を描いてほめられ、壁に絵を描いて叱られる場面
- ③音楽で大きな声で歌ってほめられ、算数で大きな声で歌って叱られる場面
- ④お金を交番に届けてほめられ、紙くずを届けて笑われる場面

また、それぞれの場面に場や状況が示されていて、場が変わるとやっていい行動とやってはいけない行動があることが分かりやすく描かれている。同時に、「なぜ同じ行動を取っているのに、ほめられたり叱られたりするのだろうか」と課題意識をもちやすい。

しかし、主人公と自分を重ねて心情や状況を考えるためには、要件がやや不足していると考えた。そこで、次の3点で一部改作を行った。

1つ目は、主人公のらいおんの子どもの名前を付けたことである。どの登場人物もらいおんなため、主人公と周りの人との違いが分かりづらい。主人公の心情に迫りやすくするために、「らいくん」と名付ける。

2つ目は、学校外のきまりを考えさせる後半の場面を削除した。前半だけでも3つの校内の

きまりが例として取り上げられているからである。また、最終段落で示している子どもの成長に関しての文言も、今回は取り扱わない。

3つ目は、場面絵を増やしたことである。らいおんの学校の始めと終わりのクラス全体の様子を示す図を提示する。そして、始めと終わりの全体の様子の違いや、中の変化に目を向けさせる。なお、らいおんの学校での3例のうち1例目はほめられる場面と叱られる場面を別々で提示する。自分の経験を想起し、主人公と自分を重ねる時間が必要だと考えたからである。その後の2例は、ほめられる姿と叱られる姿を1枚の場面絵にし、比較できるように示していく。

これらの一部改作を通して、子どもがじっくりと考えられるようにしていきたい。

## 4 本時の計画

### (1) 本時のねらい

「規則の尊重」について、場面を比べて話し合ったり、役割演技できまりを守ることの意義を考えたりすることを通して、きまりは「みんな」が気持ちよく過ごすために大切であることに気づき、自分がきまりを守っていかうとする実践意欲を高める。

### (2) 本時の授業構想

**再現構成法を活用した指導を行うことにより、自分の経験に基づく主体的な考えを促し、中心価値に迫る。**

以下の6場面を提示する。

#### ① らいおんの子どもたちがきまりよく過ごせるようになった場面

きまりがよく分かると、学級のみんが笑顔であったり、周りの様子を考慮して行動できるようになったりしていることを子どものつぶやきを通して確認していく。

#### ② まだきまりをよく分かっていない場面

らいくんの学級の「少し前」までの姿として提示する。きまりをよく分かっていないと、学級が笑顔の人、困っている人、心配している人など様々な気持ちが渦巻いていることを子どものつぶやきを通して確認していく。

#### ③ らいくんが広場を駆け回ってほめられる場面（例①前半）

広場を駆け回るとほめられ、とてもうれしい気持ちになることを確認する。ここで、らいくんの気持ちを共感的にとらえて、自分事として考えていけるようにする。

#### ④ らいくんが教室を駆け回って叱られる場面（例①後半）

教室を駆け回ると叱られ、その後はとても悲しく嫌な気持ちになることを確認する。しかし、同じ「駆け回る」という行動なのに、教室を走ると叱られるのはなぜかを考えさせていく。

#### ⑤ らいくんが紙に上手に絵を描いてほめられ、壁に描いて叱られる場面（例②）

紙に絵を描くとほめられてうれしい気持ちとなり、壁に絵を描くと叱られて、その後はとても悲しく嫌な気持ちになることを確認する。そして、同じ「描く」という行動なのに、壁に描くと叱られるのはなぜかを考えさせていく。

#### ⑥ らいくんが音楽の時間に大きな声で歌ってほめられ、算数の時間に歌って叱られる場面（例③）

音楽の時間に大きな声で歌うとほめられてうれしい気持ちとなり、算数の時間に歌うと叱られて、その後はとても嫌な気持ちになることを確認する。そして、同じ「歌う」

という行動なのに、算数の時間に歌うと叱られるのはなぜかを考えさせていく。そして、これまでの3つの場面を再度示し、叱られたときの共通点を2人グループで考えさせていく。そして、課題を解決する過程で『みんな』がいい気持ちになるためにきまりは大切である」という本時の道徳的価値に迫っていく。

2～5枚目の場面では、「みなさんも〇〇さんの気持ち分かりますか」「なぜ分かるのですか」「同じ気持ちになったことがありますか」等と問い掛け、主人公と自分を重ね合わせて心情を考えさせたり次の判断を予想させたりする。そのことで自我関与し、自分事としてとらえさせる。

また3つの例示を再提示し、叱られたときの共通点を2人グループで考えさせていく。示す「みんな」や「嫌な気持ち」「いい気持ち」などのキーワードから考えていく過程で、全ての子どもに『みんな』がいい気持ちになるために、きまりを守ることが大切」という域に迫っていくようにする。

**自分だったらどのように行動するかを役割演技で考えさせ、実践意欲の高まりを顔絵で示す。**

『みんな』が気持ちよくなるためにきまりがある」ことが分かった後、叱られたままのらいくんをすっきりさせるためにはどう言ったらいいか演じる場面を設定する。具体的には「らいくんが3回も叱られてすっきりしないまま下校しようとしている」場面とする。そして、らいくんの学級の友達として『みんな』が気持ちよくなるためにきまりがある」ことをどのように言うとよいのかを子どもなりに考えさせて、それを演じたり見たりする。具体的には以下の流れで行う。

- ① 最初に授業者がらいくん役となり、代表の子どもをらいくんの友達役にし、演ずる。
- ② 演技をして感じたことや観て思ったことを話し合う。
- ③ ①で友達役をした子どもがらいくん役となり、別の子どもが友達役をし、同様な流れで感じたこと思ったことを話し合う。

① では、代表の子どもに友達役をさせ、『みんなが』いい気持ちになるためにきまりがある」ことが分かるとらいくんはすっきりすることを演者の表情をもとに確認する。また、代表の子どもを選ぶ際には、子どもの実態をもとに、演技に抵抗のない子どもを選ぶ。

②では演者にらいくんに伝えたときの気持ちを聞き、演じる側で「言えてよかった」ことを確かめる。その後、観ている側の子どもに『みんなが』いい気持ちになれたかを確認する。演技前と演技後の表情の変化を比べながら、言われる人もいう人もみんなが「気持ちよくすっきりする」ことを確認し、「きまりが『みんなが』いい気持ちになるためにある」ことを実感を伴って理解できていることを共感していく。

③では、①～②の流れで、子どもに演技させ、らいくんに納得してもらうための言い方は複数あることに気付かせていく。

また、このように、今回は人間関係を感じさせたり気付いたりさせることに重点を置くことを考えているため、意図的指名をしていく。そして、代表の子どもの演技に自分の行動を重ねて考えらえるようにする。

役割演技の後には、振り返りの時間を設定する。その際、顔絵に色を付けたり書いたりする時間を十分に取る。ここでは、実践意欲の高まりを見ていくために、これから「みんなが」いい気持ちになるためにきまりを守っていけそうかを顔絵の色塗りで表明させる。また、記述には、「みんなが」気持ちよくなるためにきまりがあることに気付くことができたかを振り返らせる。

**(3) 本時の展開**

学習活動	主な教師の働き掛けと児童の反応	■評価規準○留意点
<p><b>導入</b> 00分 1 教材場面の問題について理解する。</p> <p>5分</p>	<p>T 1 早通小にはきまりはありますか。 C ある。廊下は走らない。 C 授業が終わったら、次の時間の教科書を出しておく。 C 隣の小学校にもきまりがある。保育園の友達が言っていたから。 C ほかの小学校にもあると思う。 T 2 今日のお話は、らいおんのらいくんの学校です。らいくんの学校にもきまりがあるでしょうか。 C あると思う。 C 廊下は走っちゃだめ。だって、危ないから。 C 授業中は、吠えずに静かにする。うるさいと嫌だから。 C 静かにするのは、びっくりするのは嫌だから。 C きまりは危ないからあるのかな。嫌になるからあるのかな。それとも他に理由があるのかな。</p>	<p>○授業者の働き掛けは、子どもが話しやすい雰囲気をつくるために柔らかい言い回しにする。 ○教材の挿絵を紙芝居形式にし、子どもたちを黒板前に集めて考えてみようとする気持ちを起こさせる。 ○すべての学校にきまりがあることを予想させて、T 2につなぐ。 ○らいおんさんの学校にもきまりがあると思う理由を取り上げて、子どもたちのつぶやきをもとに学習課題につないでいく。</p>
<p><b>展開</b> 2 教材を基に考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>学習課題</b> なぜきまりがあるのかな。         </div> <p>T 3 らいくんのクラスの今と少し前の様子です。 C 少し前は、笑顔じゃない人もいる。 C きっと、きまりを守れなかったんじゃないかな。 (場面③提示)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">           T 4 らいくんはどんな気持ちなのでしょう。         </div> <p>C うれしい。だってほめられたから。 C かけっこが上手だとほめられてよかった。 (場面④提示)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">           T 5 らいくんはなぜ叱られたのでしょうか。         </div> <p>C 教室で走って危ないから。 C 教室の中は騒ぐ場所じゃないから。 C 勉強中に走ったから「みんな」が嫌だった。 (場面⑤提示)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">           T 6 らいくんはなぜ叱られたのでしょうか。         </div> <p>C 紙はいいけれど、壁はだめだから。 C 壁は、絵を描くところじゃないから。 C 壁に絵を描くと汚くなって「みんな」が嫌だから。 C 「みんな」が気持ちよくできないから。 (場面⑥提示)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">           T 7 らいくんはなぜ叱られたのでしょうか。         </div> <p>C 算数の時間に大声で歌ったから。 C 算数は計算を考えるから、大声が聞こえると嫌な気持ちがするから。</p>	<p>○場面①②を提示し、らいくんの学級は、以前は全員が笑顔で過ごせていなかったことを確認する。</p> <p>○広場で走ってほめられたときに、うれしい気持ちになったことを押さえる。</p> <p>○教室で走って叱られた後のらいくんの気持ちを押さえてから、叱られた理由を考えさせる。</p> <p>○ほめられたときと叱られた後のらいくんの気持ちを確かめる。 ○叱られたわけを自分の経験と重ね合わせて話させる。</p> <p>○ほめられたときと叱られた後のらいくんの気持ちを確かめる。 ○叱られたわけを自分の経験と重ね合わせて話させる。</p>

<p>20分</p>	<p>C 大声のために、「みんな」が嫌な気持ちになるから。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>T 8 らいくんの3つの失敗から、なぜきまりがあるのだと思いますか。</b></p> </div> <p>C 「みんな」が嫌な気持ちにならないためにきまりがあるのだと思う。  C 「みんな」がいい気持ちになるためにきまりがある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>まとめ 「みんな」がいいきもちになるために、きまりがある。</b></p> </div> <p>T 9 らいくんは何度も叱られて、すっきりしているでしょうか。  C すっきりできていない。  C どうして叱られたか分かっていないかもしれない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>T 10 どうしたらすっきりするでしょうか。劇をしてみましょう。</b></p> </div> <p>C らいくん、教室は走っちゃだめだよ。だって、危ないし、ぶつかると怖くて「みんな」がいい気持ちになれないからね。  C 壁に絵を描くんじゃなくて、紙に描こうね。壁が汚れると、「みんな」が嫌な気持ちになっちゃうからね。  C 算数の時間に大声で歌わない方がいいよ。大声だとうるさくて「みんな」が困るよ。静かにしよう。</p> <p>(観ていた側)  C らいくんが分かってくれてよかった。  C らいくんは、すっきりしたと思う。だって、笑顔になったから。  C 注意した人も笑顔になって、「みんな」がすっきりしたと思う。</p> <p>(演じた側)  C どうして叱られたか分かって、すっきりできた。  C らいくんが分かってくれたから、ほっとした。</p> <p>T 11 らいくんは明日から「みんな」がいい気持ちになるためにきまりが守れそうですか。  C そう思う。  C だって、すっきりできたもの。</p>	<p>○これまでに考えたこと(共通点)をもとに、2人グループで考えさせる。  ○「みんな」に着目して考えを収束させていく。</p> <p>○「みんな」をキーワードに、「いい気持ちになる」や「嫌なきもちにならない」「笑顔」「ニコニコ」等子どもの言葉をもとにまとめる。</p> <p>○叱られたままのらいくんはすっきりできないことを確認する。</p> <p>○始めは授業者がらいくん役となり友達のらいおん役を代表の子どもにさせる。その後、別の子どもに友達のらいおん役をさせる。  ○劇を観た側と演じた側の立場から感想を聞き、「みんな」がいい気持ちになるためにきまりがあることを知ると、らいくんがすっきりできることを実感させていく。  ○演技をする前と後のらいくんの表情の変化を確かめさせ、すっきりできていることを確かめる。  ○演技後は、らいくんも友達のらいおんも「いい気持ち」を得られたことを表情から気付かせていく。</p>
<p><b>終末</b> 3 振り返る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>T 12 早通小学校のきまりを守るときには、何が大切なのでしょうか。そして、みんなも守れそうですか。</b></p> </div> <p>C 学校のきまりをまもるときには『みんな』がいい気持ち」を考えることが大切。  C 「みんな」がいい気持ちになるためにきつとできると思う。</p> <p>～振り返り記述～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんな」で守るといい気持ちになる。</li> <li>・きまりを守ると、「みんな」が笑顔になる。</li> <li>・きまりは「みんな」が気持ちよくなるために大事なことだと劇を観て(して)分かった。</li> </ul>	<p>○T12の発問は十分に間を取り、子どもたちにじっくりと考えさせようとする雰囲気をつくる。  <b>■振り返りの記述をもとに評価する。</b>  ○全体で振り返りをいくつか話し合ってから、学習の振り返りを書かせる。  ○振り返りカードは、取り組みやすさを考えて、顔絵の色塗りからさせる。  ○価値について記述できない子どもには、再度、黒板の</p>

45分	～顔絵カード～	
	① 教室は走らない。	
	② みんなのものに書かない。	
	③ <input type="text"/>	
	④ <input type="text"/>	
		<p>まとめを見るようにうながす。</p> <p>■顔絵の色塗りをもとに評価する。</p> <p>○できるかどうかを3段階（できる・きっとできる・できない）の顔絵カードで自己評価させる。</p> <p>○顔絵カードの残りの2つには、意識して取り組んでいきたい校内のきまりを選択して書かせる。</p>

#### （４）本時の評価

〔評価方法〕 振り返りカードの顔絵の色塗りと自由記述をもとに評価する。

〔評価規準〕 きまりは「みんな」がいい気持ちになるためにきまりがあることに気付き、自分の生活でも生かしたいという意欲をもっている。

#### 〔B 評価の判断となる児童〕

○振り返りの記述に「みんな」がいい気持ちになるためにきまりがあることが記述されている。＜価値の気付き＞

・記述の中に、「みんな」という言葉と「いい気持ち」や「笑顔」などの表現がある。

例 ・「みんな」で守るといい気持ちになる。

・きまりを守ると、「みんな」が笑顔になる。

・きまりは「みんな」が気持ちよくなるために大事だと劇を観て（して）分かった。

○実際の生活でもきまりを守りたいと思う気持ちが顔絵で塗られている。＜実践意欲＞

・顔絵の振り返りカードで2項目以上は「できる」「きっとできる」を選んでいる。

## 5 参考文献

「学習指導要領解説 特別の教科 道徳」（文科省）

「みんなでかんがえるどうとく1年」（日本標準）